

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：芦生研究林の菌類多様性に触れよう ILAS Seminar :Fungal diversity in Ashiu forest			担当者所属 職名・氏名	フィールド科学教育研究センター 講師 松岡 俊将		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・開講期	2024・前期集中	受講定員 (1回生定員)	6(6)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 集中・	教室	未定			使用言語	日本語
キーワード	菌類 / 生物多様性 /きのこ / 芦生研究林						
[授業の概要・目的]							
菌類は、かびやきのこ・酵母として知られる生物グループである。菌類は、我々ヒトを含む、他の生物と密接にかかわりながら生活をしていて、自然界において他の生物には見られないユニークなはたらき(機能)を持つ生物である。この講義では、フィールド科学教育研究センターの芦生研究林において、菌類の子実体(きのこ)相調査を通じて、菌類の生き方、機能、そして多様性や生態の研究方法について学ぶことを目的とする。							
[到達目標]							
・森林における多様性と機能という側面から、菌類とはどのような生物であることを説明できるようになる。 ・きのこと樹木を中心に、生物の分類・同定手法を修得する。 ・菌類の多様性研究手法を習得する。							
[授業計画と内容]							
前期集中 実習は5月(日帰り)と9月下旬(2泊3日)を予定している。 1. 授業ガイダンス(京都) 実習の内容の説明と事前講義を行う。 日時：4月~5月上旬の金曜5時限目を予定している。日程と場所は確定次第、KULASISに登録されたメールアドレスに連絡する。 2. 京都の里山の植生と菌類多様性を学ぶ(野外実習) 場所：京都大学フィールド科学教育研究センター上賀茂試験地 日時：1のガイダンス翌日の土曜日(日帰り)。集合場所・時刻はガイダンス時にアナウンスする。 3. 京都の奥山の植生と菌類多様性を学ぶ(野外実習) 場所：京都大学フィールド科学教育研究センター芦生研究林 日時：9月下旬(9月26 - 28日など2泊3日を予定) 内容： ・講義により芦生の植生、菌類のはたらき、菌類の多様性調査方法を学ぶ。 ・天然林と人工林における菌類の多様性の野外調査と菌類の同定を行い、菌類多様性調査方法や菌類同定方法を学ぶ。 ・北海道研究林で行われている「ILASセミナー：北海道のきのこの多様性と生き方」とzoom等で繋ぎ、各地の調査結果の発表を通じて、地域間でのきのこ相の比較を行う。							
----- ILASセミナー：芦生研究林の菌類多様性に触れよう(2)へ続く↓↓↓ -----							

ILASセミナー：芦生研究林の菌類多様性に触れよう(2)

以上の内容を踏まえ、きのこの多様性や組成がどのような要因の影響を受けて変化するのかについて考察し、レポートを作成する。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

実習の参加態度と積極性 (50点)、レポート (50点) により評価。詳細は授業中に説明する。

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)

大園享司『基礎から学べる菌類生態学』(共立出版, 2018年) ISBN:9784320057876

升屋 勇人 編『森林科学シリーズ10 森林と菌類』(共立出版, 2018年) ISBN:978-4320058262

[授業外学修(予習・復習)等]

事前にフィールド科学教育研究センターのホームページなどを通じて、芦生研究林の自然について予習しておくこと。

[その他(オフィスアワー等)]

- ・現地では旅費と別に、宿泊費・食費等の実費負担が生じる。詳細はガイダンス時に説明する。
- ・参加希望者は学生教育研究災害保険(学研賠つき)に必ず加入すること。
- ・前期の講義だが、採点報告日後に実習を実施するため、後期の講義と合わせて成績報告をすることとなる。